

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 30 日

呉市長 様

提出者

住所 呉市広多賀谷 3 - 1 - 1

氏名 中国木材株式会社
代表取締役 堀川保彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

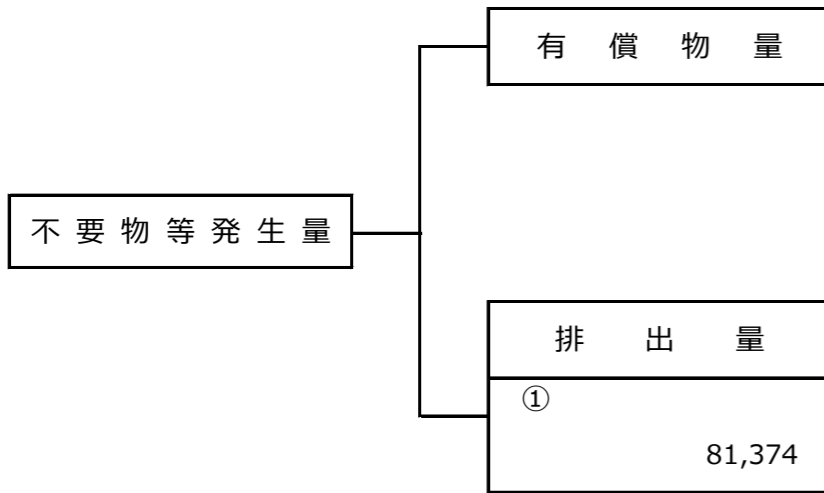
電話番号 (0823) 71 - 7142

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 令和 6 年度の
産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

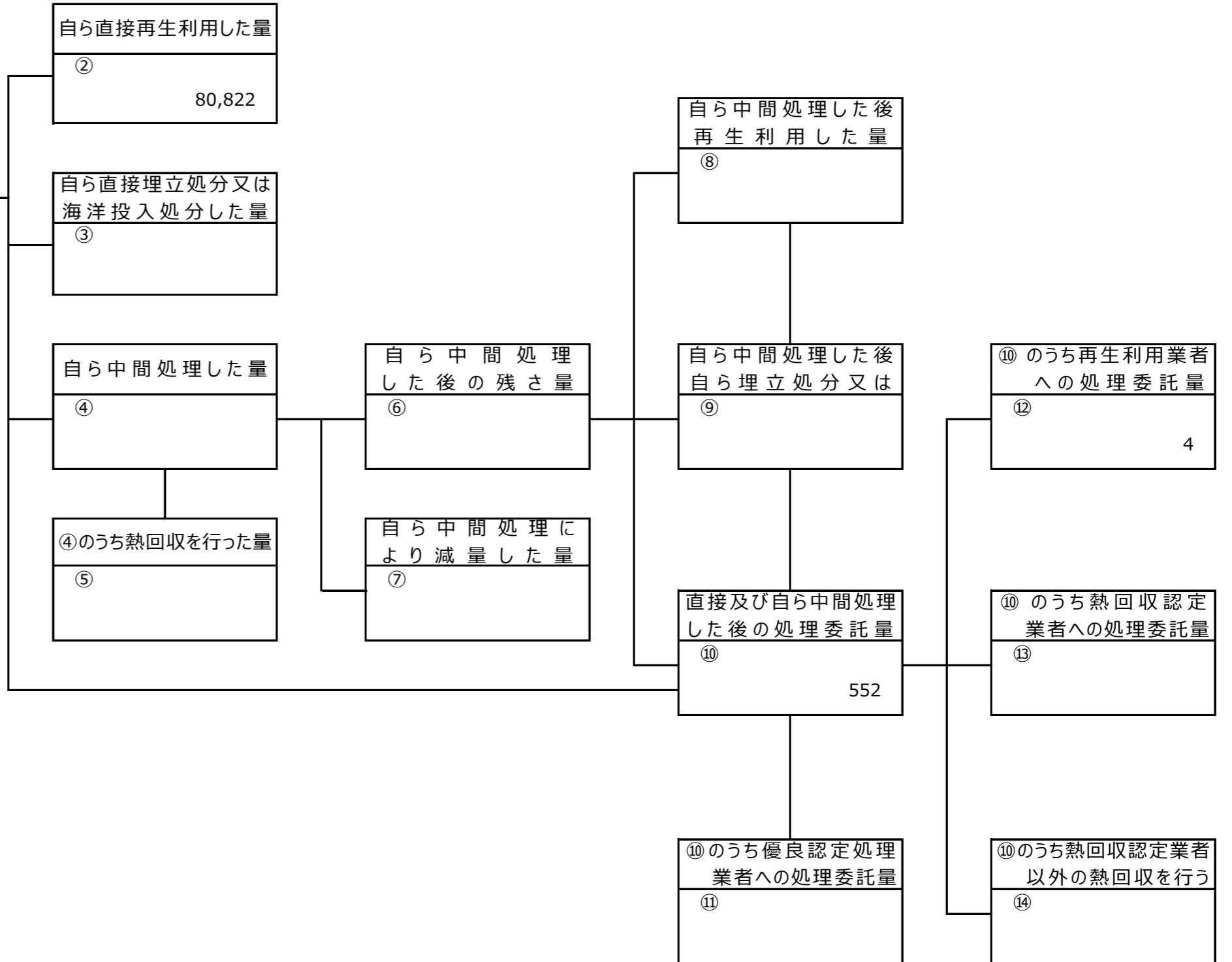
事業場の名称	中国木材株式会社		
事業場の所在地	呉市広多賀谷 3 - 1 - 1		
事業の種類	製材業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	76,465 t	全処理委託量	66,465 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	65,000 t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	65,000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

計 画 の 実 施 状 況

別紙 2 のとおり



項 目	実 績 値
① 排出量	81,374
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	80,822
⑤ 自ら熱回収を行った量	
⑦ 自ら中間処理により減量した量	
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩ 全処理委託量	552
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	
⑫ 再生利用業者への処理委託量	4
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙2(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(令和6年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残存量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後、再生利用した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻	97									97				
汚泥														
廃油														
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	73									73				
紙くず														
木くず	80,826	80,822								4		4		
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず														
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず														
鋳さい														
がれき類														
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん	73									73				
合計	81,069	80,822								247		4		

単位:トン/年

	実 績 値									
	①	②+⑧	⑤	⑦	③+⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
産業廃棄物の種類	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻	97					97				
汚泥										
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	73					73				
紙くず										
木くず	80,826	80,822				4		4		
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず										
鋳さい										
がれき類										
動物のふん尿										
動物の死体										
ばいじん	73					73				
合 計	81,069	80,822				247		4		

別紙 3 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(令和 6 年度実績)

単位：トン/年

	目標値		実績値
排出量	76,465	①排出量	81,069
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	65,000	②自ら直接再生利用した量	80,822
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		⑤自ら熱回収を行った量	
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		⑦自ら中間処理により減量し た量	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		③自ら埋立処分又は海洋投 入処分した量	
全処理委託量	66,465	⑩全処理委託量	247
優良認定処理業者への 処理委託量		⑪優良認定処理業者への処 理委託量	
再生利用業者への 処理委託量	65,000	⑫再生利用業者への処理委 託量	4
熱回収認定業者への 処理委託量		⑬熱回収認定業者への処理 委託量	
熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		⑭熱回収認定業者以外の熱 回収を行う業者への処理委託 量	